

デーリー東北

2024年(令和6年)3月16日(土曜日) (13)



携帯トイレの使い方を説明する
安部信行准教授 (左奥)

防災フォーラムで講演会

災害用トイレの備蓄を

八戸

八戸工業大地域産業総合研究所(金子賢治所長)は9日、八戸市の番町サテライトキャンパス「ばんらば」で、「防災フォーラム2024」を開いた。参加した市民ら約20人が専門家の講演を通じて、今後起こり得る災害への対策について考えた。

防災フォーラムは、市民の防災意識を高めようと、2012年から開催している。今回は、東北大災害科学国際研究所の森口周二准教授、八戸工業大の安部信行准教授、外里健太助教の3人が講師を務めた。

このうち安部准教授は、災害時用トイレの備蓄をしている人が少ない現状などを説明し、携帯トイレの実際を見せながら使い方を紹介。能登半島地震では長期間の断水が続いていることに触れ、「トイレの備蓄についても考えてほしい」と呼びかけた。(松橋瑠偉)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。